



中村 実 議員

### 安全安心の防災・減災対策について

### 安全安心の防災・減災対策について

備について何う。  
また、防災・減災について、市民の安全安心を図るための今後の対応方針は。

質問

東日本大震災発生から丸2年が経過したが、当震災から市が得た教訓や、震災後の行政・地域住民の取り組みの評



高澤 公 議員

### 糸魚川市の災害対策について

### 糸魚川市の災害対策について

質問

平成23年3月の東日本大震災、原発事故等により、日本全体が災害の観念を変えなければならぬように思う。

このような状況の中、糸魚川市地域防災計画について、当地域の災害履歴の記載はもともと古い時代まで充実させる必要はないか。津波災害の取り扱いも軽いように思うが、もともと重く受け止める必要はないか。  
また、市は、防災・減災に

ひとり防災意識を高めていくことが大切だと考えている。また、市内では自主防災組織の活動や新規の設立が増えてきており、防災・減災に対する市民意識が高まってきていると受け止めている。  
今後の対応方針については、市民の安全を最優先とした地域防災体制の強化と、公共施設の耐震化に努めていくとともに、各地区・各団体の自主防災訓練等への支援、津波避難路の整備や海抜表示、津波避難ビルの指定等に引き続き取り組んでいきたい。

柵口温泉権現荘の指定管理の進捗状況と近隣施設について  
権現荘は指定管理者制度に移行するとされてきたが、事業の進ちよく状況はどうか。  
また、上南地区地域プロジェクトモデル事業と権現荘の整合性について何う。  
市長答弁  
権現荘については、指定管理者募集要項の検討とともに、施設の改修計画等の課題調整を行っているところである。なを新規に独立させる予定である。  
防災・減災の方針については、災害から市民の命を守ることを最優先とした地域防災体制の強化と、公共施設の耐震化に努めていきたいと考えている。事業費については国・県の補助事業等を最大限活用し、有利な財源の確保に努めていく。また、市が行うハード事業・ソフト事業において、防災・減災の観点を充分踏まえた事業展開が必要と考えている。



お、柵口温泉施設の入浴機能は権現荘に一本化し、温泉センターは集会施設等での活用を考えている。  
また、上南地区地域プロジェクトモデル事業は、地区での協議の結果、山菜加工と農家レストランに取り組むことになったが、商品開発や販売、誘客活動において権現荘と連携を図れるものと考えている。